令和９年度 新入生

入　学　の　て　び　き

サンフランシスコ日本語補習校

中高部サンノゼ校

はじめに

六年生の皆さん、3 月には、サンフランシスコ日本語補習校幼小部を卒業ですね。

中高部へ進学し日本語による学習を継続しようと考えている人がたくさんいると思います。中高部では皆さんの入学をお待ちしているとともに、皆さんが今まで努力し培(つちか)ってきた力を発揮して充実した中高部での学習・学校生活を期待しています。

中高部では学習内容や、学校生活のきまりが小学部とはずいぶん違います。この説明会では、その違いと、中学校に通学する心構えをお話しします。

中学生として成長して行くために、皆さんに頭に入れて十分理解しておいて欲しいことが幾(いく)つかあります。

まず、補習校に通う目的をはっきりさせて通学することです。

「なぜ・なんのために」という目的しっかりもつことです。その目的が定まっていないと、学年が上がれば上がるほど最後までやり通すことは困難になります。毎週土曜日に通学して何を得るのか、何のために補習校で時間を過ごして、授業を受けるのか、その意義をしっかり念頭に入れてください。あくまでも学校は学習の場であることを忘れないで欲しいと思います。

次に、日本語補習校は**「日本語で」**学習する学校で、**「日本語を」**習う学校ではありません。ですから日本語で授業を受け、日本語で考えることができるということが大前提です。補習校での学習は授業中だけのことではありません。学校生活や様々な行事を通して学校という社会の中で相手のことを認め、他の人と協力することを学び、自分を伸ばしていきます。その中で日本の文化や考え方を学ぶのです。そのためには補習校にいるあいだは日本語を使うということが非常に大切になってきます。「英語の方が得意だ」と言う人は数多くいることでしょう。だからこそ日本語を使う努力が必要なのです。

最後に、おうちの方と皆さんの補習校に通うことについての意識を同じにすることです。補習校へ通うについてはこれが一番大切なことかもしれません。「本当は行きたくないけれど、お父さん、お母さんが行きなさいと言うからしかたなく来ている。」と言う人がいます。中学入学についてはおうちの方とよく話し合い、お互(たが)いが**理解・納得(なっとく)**して決めてください。中学では、前にも述べた「目的」をしっかり持つということが大切です。人に決めてもらうのではなく、自分で考え、決断し、行動できるようになってください。

この手引きをおうちの方と一緒(いっしょ)によく読み、しっかりと中高部進学について考えて、自分で決断して欲しいと思います。中高部サンノゼ校では自分で考え、決断でき、そして希望に満ちた皆さんを待っています！

１．中　学　校　で　の　学　習　内　容

中高部では、次のように授業を行っています。

（１）教科によって担当の先生がかわります。

・１日５時間授業で、各授業は５０分です。

・「算数」は教科名が変わり「数学」となります。国語と数学は各２時間。

・社会科・理科は１時間。年度途中で教科が変わります。

・国語科､数学科では副教材として漢字学習ノート､ワークブックなどを使用します。

（２）１年間に２回の定期テストがあります。

・前期と後期にそれぞれ期末テストがあります。

（３）成績は５段階で評価され、年度末近くに通知表で家庭に通知されます。

（４）中学部の学習は、小学部の学習が土台になっています。

（５）各教科、読むこと、書くこと、発表することを中心に授業を進めます。

（６）授業でわからない時は、進んで質問することが大事です。

（７）毎週宿題が出ます。計画的な家庭学習が大切です。

２．中 高 部 時 程 （基本）

内　　容	時　　間	備　　考
登校時間	～　８：３５	３５分には朝会･教室場所にいること。遅れそうな場合は、急ぎ足で！
全体朝会または学活	８：３５～　８：５０	大切な連絡事項や、学級活動があります。遅れないように登校してください。
学　活	８：５０～　９：００	
１校時	９：００～　９：５０	
２校時	１０：００～１０：５０	
３校時	１１：００～１１：５０	
昼休み（清掃を含む）	１１：５０～１２：３０	生徒会等委員会活動時間
読書時間	１２：３０～１２：４０	静かに読書をします。
４校時	１２：４０～　１：３０	
５校時	１：４０～　２：３０	
振り返りタイム	２：４０～　３：００	１日の学習の振り返りの時間
帰りのクラス学活	３：００～　３：１０	
下　校	３：１０～　３：２０	お迎えの車に乗るまでは、飲食はできません。

※授業の準備

次の時間の学習の準備（机上に次の授業の教科書・ノートを用意）をして休み時間に入る。

授業開始のベルがなる前（予鈴が鳴る）には、教室にもどり着席して先生を待つ。

ご家庭へのお願い

「全体朝会」も「学級の朝学活」も、とても大切な教育活動です。遅刻のないよう、お子様が８時３５分には、教室前、朝会場所に到着できるよう余裕を持ってお送りください。

３．登校/下校時間・遅刻について

登下校の方法についても、幼小部とは違いますので注意してください。

＜登校時間＞

中高部の登校時間は 8 時 35 分までです。登校したら各教室の前に集合します。全体朝会がある日は、指示が出ます。その日は朝会の場所に集合します。朝会は　8 時 35 分から始まります。

＜遅刻について＞

朝会開始の 8 時 35 分までに教室、あるいは朝会の場所にいない場合は、遅刻と見なされます。朝会に遅れた場合は、「遅刻者リスト」に名前を記入してから整列し、朝会に参加します。朝会は、全校の生徒、先生方が集まり、1 日を通しての、あるいは生徒会からの連絡事項をみんなで確認して 1 日を始める大切な時間だと考えています。皆さん一人ひとりが遅刻をしないように気を付けてください。

その他に現地校に関係することなどで遅刻して登校する場合があると思います。その場合は「生活のきまり」にある手順に従ってください。遅刻が度重なると、ご家庭に連絡が行ったり、面談したりすることもあります。

＜下校時間＞

中高部の下校時間は 3 時 10 分です。校門前でピックアップとなります。3 時 30 分になっても迎えがない場合は、パビリオンで待機することになります。その際はお迎えの方にパビリオンまで来ていただいて、職員室で確認して受け渡しとなります。

下校の際は学年ごとに駐車場でピックアップを待ちます。生徒をピックアップする車の助手席側の窓に生徒の学年と組、名前を書いた紙を提示（ていじ）します。名前を書いた紙は、初日だけは家庭で用意してください。

送迎時の乗降及び駐停車の際の諸注意

（生徒の登下校はドロップオフ、ピックアップです）

下記の注意事項にご留意いただき、安全な送迎をお願いいたします。

（諸注意事項）

① 駐車場内は一方通行ですので厳守してください。

② 必ず学年・組・氏名が記載されているネームプレートを、**助手席側の窓に見えるように提示してください。係の教員がそれを見て、お子様を呼び出します。**
（ネームプレートは入学式の日に生徒に配布します）

③ 継続して車が入ってきますので、途中で停まると一般道にまで車の列が続きます。先頭の車は必ず一番奥まで進んでからお子様を乗せてください。

④ **Hyannisport Dr.から駐車場へは右折で侵入します。左折では入れません。**

⑤ **Hyannisport Dr.の住宅側は終日駐車禁止です。**

⑥ 車と車の間を空けずに進んでからお子様を乗せてください。

⑦ ダブルパーキングは、係の指示がある場合を除き禁止です。

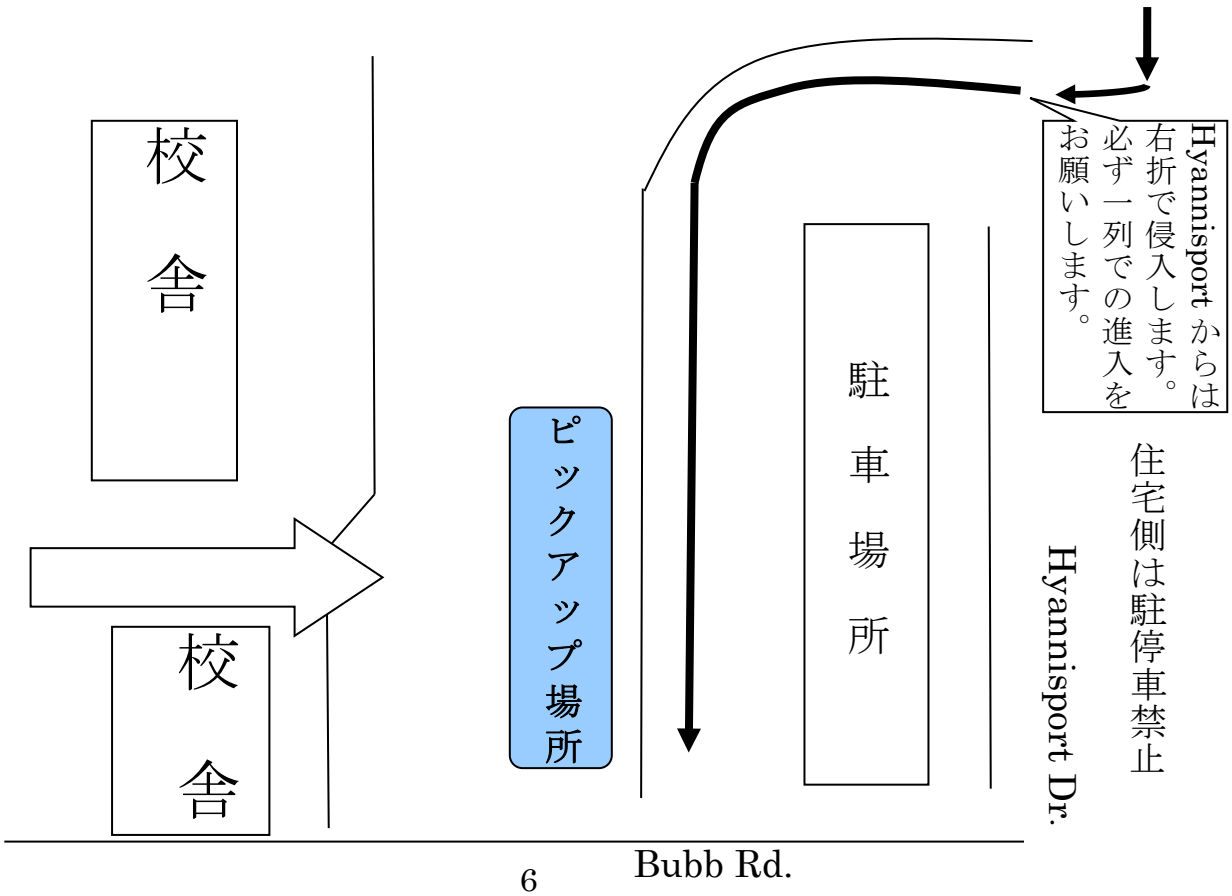
⑧ クラクションは鳴らさないでください。

⑨ 駐車場入り口、または出口での乗車は禁止です。

⑩ **住宅側での乗降及び駐車は禁止です。必ずピックアップゾーンでお子様を乗せてください。**

⑪ 横断歩道以外の場所を横断するのは危険です。迎えの車の前を横切って駐車場へ行く際は、必ず駐車場当番が立っている「横断歩道」の印があるところを渡ってください。

※保護者駐車場当番（黄色とオレンジのベスト着用）の指示には従ってください。



４．学　習　・生　活　の　き　ま　り

日本語補習校小学部では小学部のきまりがあるように、中高部でも中高部としてのきまりがあります。そのきまりは日本の学校で定められている標準的なきまりと大きく違うわけではありません。学校生活をおくる上で必要な基本的なルールです。サンフランシスコ校・サンノゼ校共通の基本的なきまりがありますが、それぞれの環境に合わせた各校独自のきまりもあります。入学時には各自がこれらのきまりを読んで、それを守ることを約束するという生徒・保護者が署名した誓約書(せいやくしょ)を提出します。

（1）　学　習　の　き　ま　り

学習というのはそれぞれに目標を決め、その目標達成に向かって努力して行くことが非常に大切です。皆さんは月曜日から金曜日まで現地校では英語で学習をし、土曜日１日は日本語で学習しています。これは特殊(とくしゅ)なことでもありますし、大変努力を要することだと思います。土曜日にも努力をして日本語を通じて日本の学習、文化などを学ぼうとしている皆さんはすばらしいと思います。

一般的には集団で学習した方が一層効果のある場合が多いといわれています。なぜなら集団の中で他人の考え方や、行動の仕方を見たりきいたりすることから自分だけでは経験できない多くのことを学び取ることができるからです。しかし、その集団の学習に対する意識がバラバラで、学ぼうという人たちの姿勢が、そうではない人たちに妨(さまた)げられてはなんにもなりません。みんなが学習に対する意欲・姿勢を意識できるように、学習中のきまりを守って授業に集中してください。

そして、せっかくの土曜日を充実したものとして、何かを得て帰って欲しいと思います。

学 習 の き ま り （ 中高部 ）

各自、日本語補習校で学ぶ目的をしっかり持ち、自分のためになる授業にしていく。また授業中、休み時間を問わず学校では日本語を使用することが絶対の前提です。
（なぜ・なんのために日本語補習校に通ってくるのかをはっきりさせて、授業に臨むこと）

〔日本国内の標準的な規則に基づいた日本語補習校の規則です〕

1. 授業始業時には、机上に次の授業の教科書・ノートを用意する。授業に関係ないものは、机上に出しておかない。
2. 当番は黒板・ホワイトボードを常にきれいにしておく。
3. 予鈴がなったらすぐに教室に入り、決められた席に着席し勝手に移動しない。
4. 授業の始め、終わりは当番が「起立、気をつけ、礼」の号令をかけ、あいさつをきちんとする。
5. 授業中は姿勢を正し、指名されたら「ハイ」という返事をする。
6. 自分の意見を述べる時、質問等に答える時は、静かに挙手をして、教師の指示に従う。
7. 先生や級友の言うことを、最後までしっかり聞くようにする。
8. 私語等は慎(つつし)み、授業に関係のないことはしない。
9. 授業を真剣に受け、他の人の妨(さまた)げにならないようにする。
10. 授業に遅(おく)れた時には、入室する時にその理由を先生に話す。
11. 授業中にトイレ・職員室に行く時は、教科担当の先生の許可を得て、許可証を持っていく。
12. わからないことは、進んで質問するように心掛(こころが)ける。
13. 大切なこと・板書はノートにきちんと記録しておく。
14. 忘れ物をしないように注意する。忘れた時は担任（教科）に連絡する。
15. 携帯(けいたい)電話等の電子機器はゲートで電源を切り、ヘッドフォーン、イヤフォーン等と共にバッグにしまう。

※トイレ・大事な用事は休み時間に済ませ、次時の用意をすること。
休み時間は、特に教室の備品等の取り扱(あつか)いには注意すること。

（2）　生　活　の　き　ま　り

学校はひとつの小さな社会です。皆さんはその社会の一員として学校生活を送っています。そしてその社会には、一人ひとりが満足した楽しい生活を送れるように生活のきまりがあります。一人ひとりがそれぞれ別々のルールに基づいて勝手な生活をしていたのでは集団が成り立たなくなってしまいます。そのために学校生活のきまりがつくられています。この生活のきまりの中には、守られなければ現地校校舎が借用できなくなり、補習校自体の存続に関わってくる大切なものもあります。皆さん方全員が中学生としての自覚を持って、きまりを守り、節度ある学校生活を送ってください。

たくさんのきまりがあって窮屈（きゅうくつ）に思われるかもしれません。しかし、みんなが本当に楽しいと思える学校を創るためには、その楽しさを守っていくためのルールが必要なのです。

生　活　の　き　ま　り（ 中高部 ）

日本語補習校では、限られた諸条件の中にあって、より豊かな学校生活の維持、向上を図るために次の生活のきまりが設けられています。

1．挨拶・日本語使用についての基本的なきまりです。

(1) 補習校は「日本語で」学習する学校です。**学校では授業中、授業外を問わず日本語で話す。**英語は使用しない。

(2) 先生方、来校の保護者他来客にはきちんと声に出して挨拶する。

(3) 職員室入室の際は、「失礼します。〇年〇組の〇〇です。」と挨拶し、用件を言ってから入る。退室の時は「失礼しました。」と言って退室する。職員室内は先生方の指示に従う。

2．借用校との事前の同意を条件に、教室使用が認められています。この事前の同意には、様々な教室使用の約束が盛り込まれています。したがって、これからの借用が保証されていくためにも次の約束を守っていかなければなりません。

(1) 建物内外の現地校教師・生徒の品物、掲示物、備品には**手を触れない**。

(2) 教師のいない教室には、**絶対に生徒だけで入らない、残らない**。

(3) 机、いす、壁などには落書きなどをせず、**汚さない**。

(4) 教室内での**遊び、飲食はしない**。

(5) 食事の時間は昼休みとし、場所はパビリオンのみ。

(6) **ガムの持ち込みは禁止。**

(7) **下校時も迎えの車に乗るまでは飲食は禁止。**

(8) 校庭、教室を汚さない。（落ちているゴミ、自分で出したゴミの処理など、常に借りている学校内の美化を心がける。）

(9) 机、いす等を移動した場合は、必ず**元の場所に戻しておく**。

・その他、身の回りを点検し、学習用具･衣服･弁当箱等を置き忘れないよう注意する。

3．借用施設の関係でいろいろな活動が制限されています。また、昼食時のスポーツ活動も制限されています。安全の上からも次の約束を守ってください。

(1) 許可されている種目は、原則として、バスケットボール、ドッジボール、バレーボール、サッカー(パス･シュート･リフティングなど危険のないもの)バドミントン等、学校で用具を準備しているものとする。その他の種目がスポーツ大会の種目となった場合のみ、その種目については再検討することとする。

(2) ボール、その他の用具は家庭から持ってこない。学校の用具を使用する。 （用具は許可されている種目の範囲内で学校が用意する。）

(3) 許可された場所以外でのスポーツ活動はしない。（危険、施設破損防止のため）

(4) 昼休みのみトランプ、将棋などの用具を使用した遊びを許可する。スポーツ用具と同様にして職員室で借りる。

(5) 用具の紛失及び破損は自己負担とする。

４．集団による充実した学習及び学校生活を営むためには、他人に迷惑をかけないこと等、自覚と節度ある行動が必要となってきます。次のきまりは必ず守ってください。

(1) 学習に関係のない物品･多額のお金･貴重品･危険物（ガン･ナイフ及びその類似品等）等の持参は禁止する

(2) 携帯電話・カメラ・ゲーム類・化粧品類（リップを除く）などは持ってこない。

(3) 携帯電話は校内での使用を禁止（ゲートの外で電源を切ってバッグにしまい、下校時のゲートの外まで出さない）とし、緊急時は職員室で電話を借りて連絡をする。

(4) 校内では、漫画を出したり見たりしない。貸し借りを目的とする場合は、校外で行うこと。図書室で許可されている漫画本は、昼休みに図書庫の前で読むことができる。（漫画本は借りることができるが、読書タイムには読めない。） きまりが守れない場合は、これらの物品を学校が一時預かり、所定の方法で処置する。

(5) 英語の本、現地校関連の本などは持ってこない。

(6) きまりが守れない場合はこれらの物品を一時預かり所定の方法で処置する。

＊預かり物品の保管と処置

・物品は学校で預かり、きまりについて十分理解させた上で本人に返却する。

・度重なる場合は、一時預かった物品は、保護者を通じ返却する。その際は、2 週間たっても返却依頼がない場合は、処分するものとする。

・危険物を所持していた場合は州の法律に準じた処置をする。

(7) 欠席、遅刻、早退は、事前にポータルで提出する。遅刻、早退の場合の出入りは職員室で氏名、理由をノートに記入の上行う。事前に届け出のない遅刻が度重なった場合、段階を追った指導を受ける。

(8) 8 時 50 分までの遅刻

・8 時 35 分（登校時間）を過ぎての登校は遅刻とする。

・8 時 35 分～8 時 50 分に登校した場合、校門でサインをし、教室または朝会場所へ行く。

(9) 8 時 50 分以降に登校した場合は必ず保護者とともに職員室に行き、理由をノートに記入する。

(10) 校地外に出ることは、許可のある場合を除き厳禁とする。

(11) 学校建物（窓ガラス・壁等）・器材を破損した場合は必ず報告し、適切な指導を受ける。 破損した物品･器材については、原則として当事者の実費負担とする。

５．服装については以下のとおりです。

(1) 生徒は、清潔で安全性があり、本校の教育方針に即した服装をする。

・高い上げ底靴は避ける。特に後ろにストラップのないサンダル等での登校は安全面を考慮し、禁止とする。

(2) 着用衣類や持ち物については、攻撃的なメッセージや言葉、あるいはギャングの象徴となるような言葉が入っている衣類を着用したり、所持したりしてはならない。

(3) みだりに肌が露出するような衣類を着用しない。変質者等の被害にあわないよう、衣類に十分気をつけること。

・肩にかかる部分が１インチ以下のものは避ける。

・片方の肩が露出するタイプのものは避ける。

・おへそが出るものは避ける。

・下着が見えそうな短いスカートや下げパンは避ける。

(4) 授業や学校行事等においては、その目的に即した服装で参加する。

・授業中や集会の時には帽子やフードの着用は、特別に許可を得ている場合以外禁止とする。

６．目的をしっかり持ち、自分のためになる授業にしていきたいというのは、お互いの願いです。この願いは、お互い尊重されなければなりません。次の約束は、秩序正しい授業のための基本的なものです。

(1) 授業に遅れた場合は、まわりに迷惑にならないように静かに着席する。

(2) 授業中教室を離れるときは、教科担任の許可を得、許可証を持っていく。

(3) 授業を真剣に受け私語・手遊びは慎み、授業に関係のないこと、他の生徒の妨げになるたち歩きなどはしない。

７．生徒自身の運転による自動車通学は禁止しています。

８．上記のきまりが守れない生徒に対しては、本人が責任を負う形で指導をしていきます。その手順は、以下のとおりです。

(1) きまりに違反した生徒は担任及び他の先生の指導（事後処理及び反省、今後の方向等）を受ける。

(2) 度重なる生徒は、次の段階を踏まえて指導する。

・保護者に連絡し、家庭においても厳重に注意してもらう。

・保護者にも学校･事務局に来てもらい、生徒とともに面談をし、指導の方向を決定する。

・校長（教頭）等と面談し、懲戒（訓告・停学等）を含め指導の方向を決定する。

(3) 再三注意されてもきまりが守れない生徒、または重大な問題行動をおこした生徒には、保護者とも相談のうえ、校長が別途規定により懲戒（停学･退学）も含め処分の方向を決定する。

９．学校訪問については以下のとおりです。

本校の転学者･卒業生･修了生で、帰国･転居等のあいさつなど、理由が明確なもの。訪問者は職員室に来て訪問の理由を伝えて許可を得る。時間は、特別な場合を除き、昼休みのみとする。

５．委　員　会　活　動　に　つ　い　て

中高部では行事、学校での活動などは基本的に保護者の助けを借りずに、生徒自身で運営します。そのために委員会が設置されており、活動内容に応じて委員会が中心となって行われます。

生徒会

生徒会は、中学１年生から高校２年生までの中高部生徒全員で構成されています。自分たちの生活を自主的に、そして主体的に向上させるために活動します。生徒会に属する委員会は次のようなものです。

＜生徒会役員会＞

生徒会役員は、会長ほか中学１年生から高等部２年生の中から選挙で選ばれる役員で構成されています。生徒会はみんなの学校生活が楽しくなるように、行事を工夫したり、生活の中で足りないところを見つけ出して取り組んだりして行きます。しかし生徒全員で話し合うのは大変なので、生徒会役員を選挙で選び、彼らに基本的な企画（きかく）運営などを生徒代表として行ってもらいます。生徒会と学級の連絡を密にするために、各学級から選出される学級委員が生徒会役員と一緒に活動します。

＜学級委員＞

各学級で選出された２名の学級委員が、学級のまとめ役として、生徒会担当と協力して生徒会行事などの話し合いの進行などをします。スポーツ大会の計画などの中心となります。生徒会の決議事項をクラスに伝達し、クラスの意見を生徒会に持って行くクラス代表の委員会です。

＜図書委員会＞

図書委員長を中心とした委員会で、貸し出し・返却の手伝いや読書推進の広報活動などをします。

６．中高部サンノゼ校行事

中高部では以下のように小学部とは少々違った行事を行っています。これらの行事は企画（きかく）・運営と生徒（生徒会）主体で行われます。

＜スポーツ大会＞

中高部の体育的行事はスポーツ大会です。各クラス男女別に各種競技のチームをつくり、トーナメント方式で試合をします。スポーツ大会当日まで練習を重ね、全員参加で学級が一つになって試合をします。審判は保護者や卒業生の皆さんで分担し、スポーツマンシップを最も大切にしています。

＜学芸祭＞

毎年、学芸祭のテーマに沿ってステージ発表をしています。各学級での発表と生徒会での発表に分かれます。学級発表は、何か月も前から生徒たち自身で発表内容を決めて準備を進め、脚本から創る自作の劇などを通じて、その成果を発表します。生徒会発表は、音楽演奏やダンスなどの発表などもあり大いに盛り上がります。クラスや生徒会が一つの目標に向かって何かを作り上げて行く楽しい行事です。

その他にタレントショー、昼休みを使っての行事、似顔絵（にがおえ）大会、クイズ大会、ビデオショーや集中学習中のドッジボール大会など生徒会が主催（しゅさい）するものもあります。できるだけ生徒が自主的に作り上げる行事を目指しています。

＜駄菓子フェス＞

また、保護者会の主催（しゅさい）する駄菓子フェスが秋に行われます。この日は、生徒の皆さんはお昼休みに、売っているものを買って食べます。

＜お正月行事＞

保護者の方々にご協力いただき、日本のお正月の遊びや行事を体験したりして、昼休みを過ごします。

7．入　学　試　験　ま　で

皆さん、中高部の概要を理解できましたか。では、中学部に入学するまで、どんなことを準備するのかお話しします。

中学部の学習は､各教科とも小学部で学習したことをより深く勉強して行くものです｡時には､これまでまったく知らなかったようなことも学習します。しかし、これらはすべて小学部での学習が基になっており、中学部の先生方も皆さんが小学部での学習が身に付いているということを前提として授業をしています。最初のうちは、小学部で学習したことを思い出しながらの学習が多いです。ですから､小学部での学習内容がしっかりと身に付いていれば、中学部で新しいことに取り組んでもすぐに理解ができるようになります。

では、今皆さんが中学部での学習に備えておくことは何でしょう。

それは､小学校での学習を復習することです。しっかり復習をして、中学部の学習に備えてください。小学校６年生の国語の教科書を繰り返し読むこともよい方法です。算数の教科書の後半は小学校の算数の学習のまとめになっています。それをもう一度確認することも効果的です。

さあ、今日から、小学部卒業までの一日一日を有効に過ごし、中学部での学習に備えましょう。